



## 「CO<sub>2</sub>排出量測定ツール（C-checker）」の取扱開始について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2023年9月26日（火）より、中堅・中小企業の脱炭素化を支援することを目的として、「CO<sub>2</sub>排出量測定ツール（C-checker）」（以下「C-checker」）の取扱いを開始しましたので、お知らせします。

「C-checker」は、CO<sub>2</sub>の排出に繋がる電気やガソリン等の使用量を入力するだけで、会社全体や事業所ごとのCO<sub>2</sub>排出量が自動で可視化され、排出量の推移や排出源の分析が容易に可能となります。また、CO<sub>2</sub>排出量の可視化を実施されたお客さまに対し、当行では、CO<sub>2</sub>削減目標の策定・削減計画の立案に係るコンサルティングや、CO<sub>2</sub>削減目標の達成状況に応じてインセンティブが発生する仕組みの融資制度であるサステナブルファイナンスのメニューを揃えており、CO<sub>2</sub>排出量の可視化から削減計画策定、実行、モニタリングまで一貫した伴走支援が可能となります。

なお、「C-checker」は、ちばぎんビジネスポータル<sup>※1</sup>をご契約のお客さまが無料でご利用いただけるサービスです。ちばぎんビジネスポータルへログインしたお客さまは、シングルサインオン<sup>※2</sup>で利用できるため利便性が高いことも特徴です。

### 【「C-checker」の概要】

 <p><b>CO<sub>2</sub>排出量の可視化と分析</b></p> <p>CO<sub>2</sub>の排出に繋がる活動量（電気、ガソリン、ガス等の使用量）を入力すると、ダッシュボード（トップページ）にグラフで表示。前年度との排出量の比較や事業所ごとの傾向を一目で把握することができます。また、登録したデータをCSV形式で出力し、活用することも可能です。</p>	 <p><b>事業所ごとのCO<sub>2</sub>排出量、排出源の分析が可能</b></p> <p>事業所ごとに排出量を分析することが可能なため、CO<sub>2</sub>削減に向けた設備投資等の計画立案・実行をよりスムーズに行うことができます。</p>	 <p><b>初期費用、ランニング費用ともに無料</b></p> <p>ビジネスポータルに登録しているお客さまが、無料で利用可能なツールです。費用のご負担無くご利用いただけます。</p>
--	---	--

当行は、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、地域の社会的課題解決に貢献するなど社会的価値を提供し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指します。

※1 ちばぎんビジネスポータルは法人や個人事業主のお客さまがビジネスに関するさまざまな情報やサービスをオンラインで利用・管理できるプラットフォームです。 (<https://www.chibabank.co.jp/hojin/portal/>)

※2 シングルサインオンとは、1度のユーザー認証によって、複数のシステムの利用が可能になる仕組みです。「C-checker」は、ちばぎんビジネスポータルのユーザー認証のみで利用可能です。